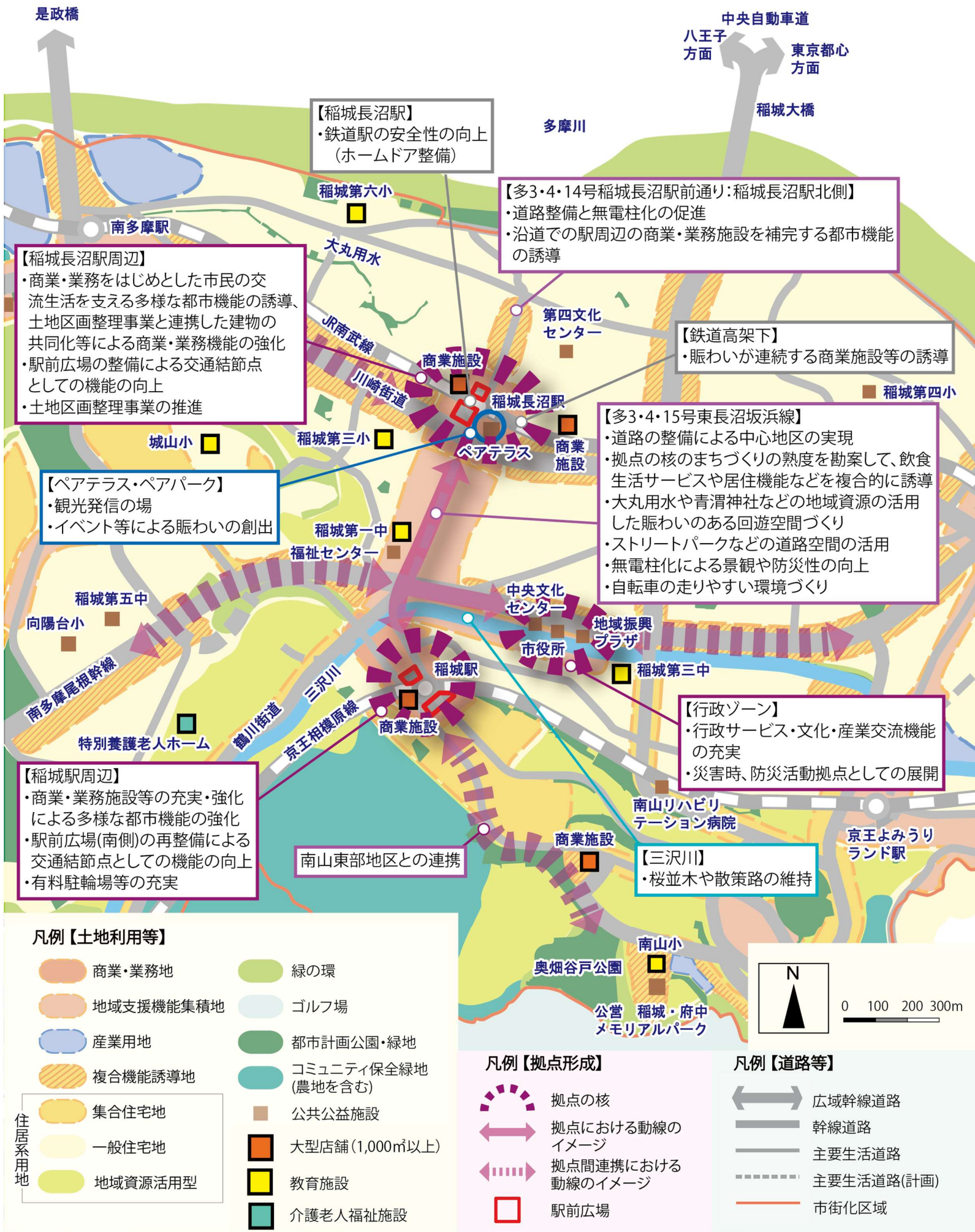


中心地区（活力創造拠点） （稲城長沼駅周辺地区、稲城駅周辺地区、行政ゾーン）

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

『稲城市の「顔」として、人々が行き交う活力ある拠点』

- 稲城長沼駅・稲城駅周辺では、利用しやすい駅前広場が整備されていて、駅前広場の周辺や高架下に飲食店や生活サービス施設などが立地しています。近隣の方はもちろん、他の地区からもバスやシェアサイクルなど様々なモビリティを使い、多くの人が訪れ、にぎわっています。
- 行政ゾーンの公共施設では、文化活動や地域活動の拠点として、市民がのびのび利用しています。また、市民の様々な作業や打ち合わせのためのコワーキングスペース等もあり、サードプレイスとしても、開放されています。
- 稲城長沼駅と稲城駅を結ぶ道路や南多摩尾根幹線は、安全で歩きやすい歩道が整備され、三沢川沿いの散策路とあわせて、散歩やジョギングなどで利用され、多くの人が行き交っています。これらの沿道では、地元で採れた梨やぶどう、野菜などが販売されるとともに、所々に配置された広場空間やベンチなどでは、子育て世代から高齢者まで様々な方がゆっくりとした時間を過ごしています。



広域連携拠点地区（若葉台地区）、生活拠点（長峰地区）

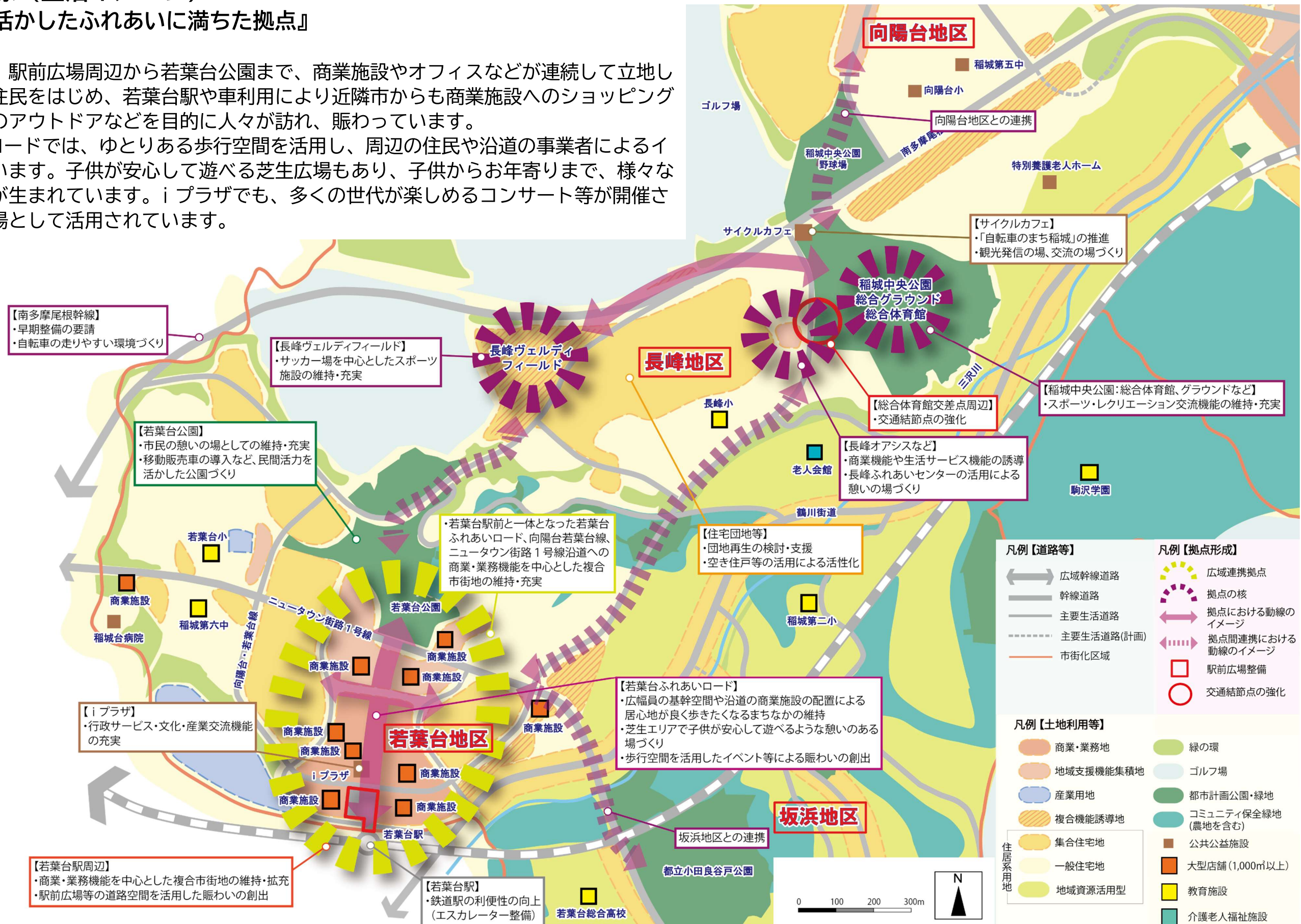
～ 将来の生活像（生活イメージ）～

『緑豊かな公園を活かしたふれあいに満ちた拠点』

■若葉台駅周辺では、駅前広場周辺から若葉台公園まで、商業施設やオフィスなどが連続して立地しています。周辺の住民をはじめ、若葉台駅や車利用により近隣市からも商業施設へのショッピングや、若葉台公園でのアウトドアなどを目的に人々が訪れ、賑わっています。

■i プラザふれあいロードでは、ゆとりある歩行空間を活用し、周辺の住民や沿道の事業者によるイベントが行われています。子供が安心して遊べる芝生広場もあり、子供からお年寄りまで、様々な世代が集い、交流が生まれています。i プラザでも、多くの世代が楽しめるコンサート等が開催され、市民の憩いの場として活用されています。

■若葉台公園や稲城中央公園、長峰ヴェルディフィールドでは、多くの市民がライフステージに応じて、気軽にスポーツを楽しんでいます。尾根幹線の自転車走行空間は走りやすく、市の内外から多くのサイクリストが訪れ、中央公園内のサイクルカフェを憩いの場として活用しています。また、公園内ではキッチンカーが出店するイベント等で賑わっています。



レクリエーション拠点地区（京王よみうりランド駅周辺地区、南山東部地区）

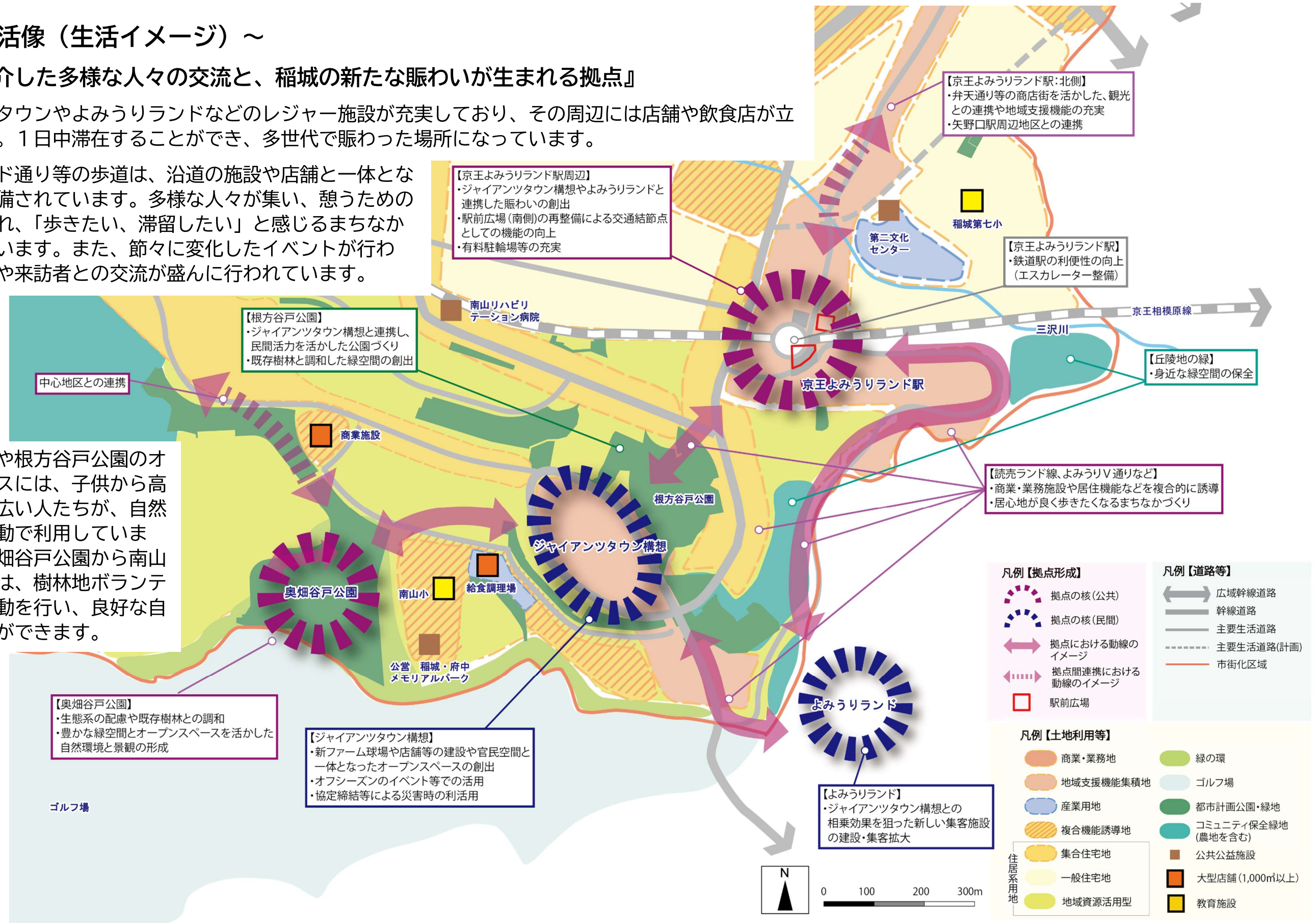
～ 将来の生活像（生活イメージ）～

『地域資源を介した多様な人々の交流と、稲城の新たな賑わいが生まれる拠点』

■ジャイアンツタウンやよみうりランドなどのレジャー施設が充実しており、その周辺には店舗や飲食店が立地しています。1日中滞在することができ、多世代で賑わった場所になっています。

■よみうりランド通り等の歩道は、沿道の施設や店舗と一体となった空間が整備されています。多様な人々が集い、憩うための場所が創出され、「歩きたい、滞在したい」と感じるまちなかが形成されています。また、節々に変化したイベントが行われ、地域住民や来訪者との交流が盛んに行われています。

■奥畑谷戸公園や根方谷戸公園のオープンスペースには、子供から高齢者までの幅広い人たちが、自然体験や余暇活動で利用しています。また、奥畑谷戸公園から南山西部にかけては、樹林地ボランティアと保全活動を行い、良好な自然に触れる事ができます。

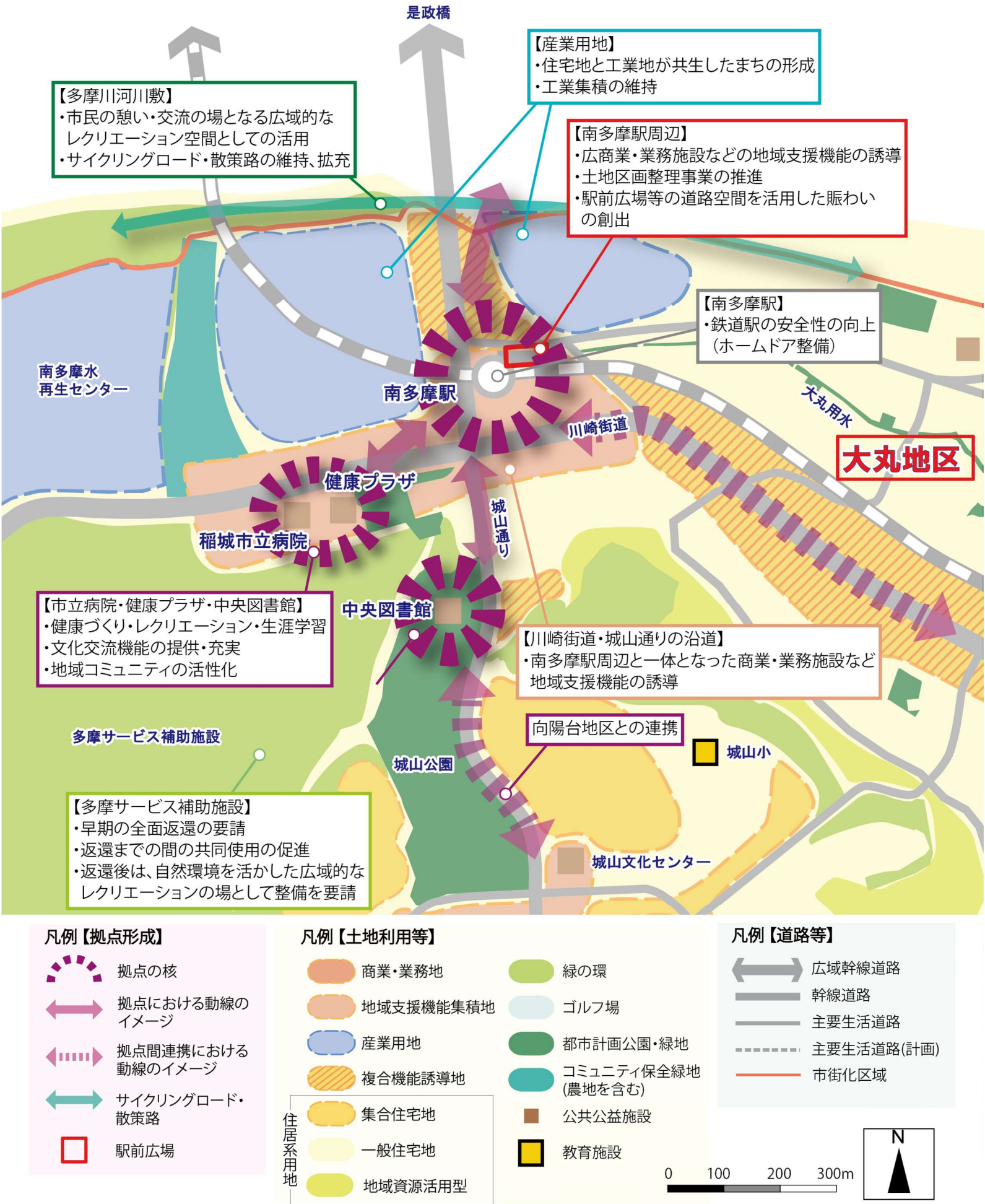


生活拠点（南多摩駅周辺地区、大丸地区）

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

『豊かな自然環境のもと、健康的に文化交流を育む拠点』

- 市立病院や健康プラザでは、様々な健康づくりのイベントが開催され、中央図書館では、読み聞かせなどの子供向けのイベントから映画上映による大人向けのイベントまで開催されています。こうした公共施設を活用し、多くの世代の方が交流し、各々の余暇活動・趣味を楽しんでいます。
- 住宅地と商業地・工場等の形成により、様々な業種の方が訪れています。また、工業地では、後継者支援・技術継承が行われ、市内の雇用や経済の活性化につながっています。多様な業種でもコミュニケーションが生まれた調和された空間となっています。
- 多摩サービス補助施設や多摩川・大丸用水を活用し、散策などによる環境学習、自然観察、昆虫植物の採取などが行われています。



生活拠点（向陽台地区、百村地区）

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

『緑につつまれた便利で快適な住宅地での、多様な世代の生活を支える拠点』

- 地区の拠点である城山文化センター周辺には、交通結節機能（バス乗り換え施設、駐輪施設、シェアサイクル、電動カートなどの貸し出し施設）が強化され、市立病院や市役所などの主要拠点をはじめとした拠点内外の移動が容易となっています。地区内では新たな交通システムが導入され、高齢者等も安心して外出できる環境が整っています。
- 集合住宅の団地再生支援等により住宅が更新されるとともに、中古住宅の取引が活発化し、若い世代が転入してきています。また高齢者には、地域包括ケアシステムの充実等により、社会参加等が進み、住み慣れた地域で暮らし続ける事が出来る様になり、子供から高齢者まで、多様な世代が地域交流のもと、自分らしい暮らしを実現させています。
- 向陽台公園通り沿道には、新しい店舗や生活サービス施設などが立地し、城山公園では、地域の方々によるイベント等が定期的で開催されており、緑の多い環境のなか、歩いて楽しい、賑わいのある通りとなっています。



生活拠点（平尾地区、坂浜地区）

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

『新住民と旧住民との交流により、地域の活性化が生まれる拠点』

- 平尾住宅分譲棟で建て替えによる創出用地には、新たな商業・生活サービス施設などが立地し、既存のセンター地区と共に新たなセンター地区が形成され、平尾近隣公園を介して賑わいが生まれています。現在お住まいの方や新たに入居した若い世代が、買い物目的に市外からも訪れる人などにより、新たな交流が生まれています。
- 平尾中央通りでは、歩行空間が歩きやすく改良され、沿道に新たな店舗や生活サービス施設などが展開し、センター地区との回遊により、地域の利便性・魅力が高まっています。

- 坂浜地区は土地区画整理事業に寄り若い世代が増え、地区が若返っています。また、民有樹林地や農地などの地域の緑空間では、維持・管理・保全の取り組みを通じて、現在お住まいの方や新たに入居した若い世代によるコミュニティが生まれています。

